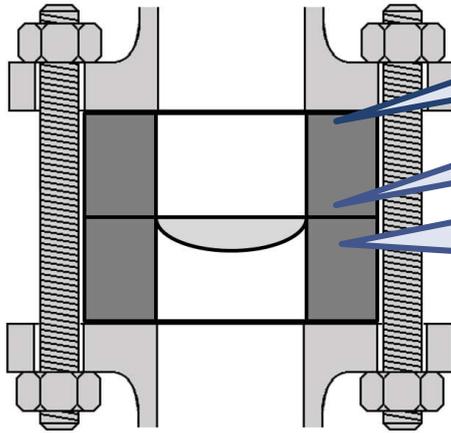


反転型ラプチャーディスクの点検における注意点

反転型ラプチャーディスクは一度取り外すと再利用が出来ません。点検は組込まれた状態のまま実施をお願いいたします。



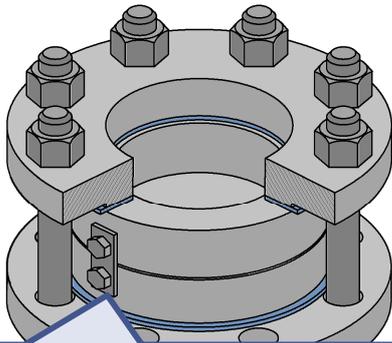
締付けによりディスク端部で応力が発生

締付け解放後もわずかな応力が残留

再締付け時には
初回締付け時と異なる応力状態となる

**破裂圧力が変化することがあるため
ラプチャーディスクの再使用は禁止**

【インサート型ホルダの特徴】



締結金具で簡易的に固定

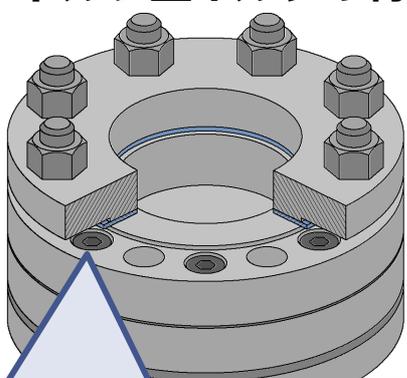
[メリット]

- ・スタッドボルトの内側に挿入するため交換時に全てのボルトを外す必要がなく作業が簡易化できる
- ・ホルダが軽量かつ安価

[デメリット]

- ・スタッドボルトのトルク管理が必要なため、安定した締付け作業ができる場所で使用する必要がある

【プレトルク型ホルダの特徴】



あらかじめトルク管理が可能

[メリット]

- ・取付け場所が高所、狭い場合、または水平配管に設置する場合など、スタッドボルトのトルク管理が難しい場所においても安定した性能を発揮できる
- ・点検の際など、ホルダのボルトを緩めない限りは、フランジへの再取付けが可能

[デメリット]

- ・ホルダが重くなるため、取扱いに注意が必要
- ・場合によっては取付け配管のサポートも必要

その他よくあるご質問に関しましては弊社HPでご紹介をさせていただいておりますので、ぜひご参照ください。